

同窓会報 News letter

Vol.
68・69

横浜市立南高等学校・附属中学校 同窓会

挨拶.....	2
先生・OB 紹介	4
南高 70 周年記念行事	6
同窓会主催の活動、同期会、部活 OB 会.....	7
寄付者御芳名.....	10
同窓会表彰 ほか.....	11
総会開催案内、ホームページのご案内.....	12





同窓会 会長
磯部 修一 (21期)
Shuichi Isobe

令和7年5月25日の理事会において横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会会長に就任いたしました21期の磯部修一と申します。大学を卒業し、教職に就いてからは南高卒業生の多さを実感しました。中学校の教員をしていましたので、高校受験で南高希望などの話を聞くとうれしく思うこともありました。そして縁あって、平成28年度から30年度には南高附属中学校の校長として勤務いたしました。

高校卒業後、同窓会にかかわる集まりに出かけた記憶というものがなかったのですが、還暦に合わせて開催された同期会に出席し、懐かしい仲間に出会えました。その際に感じたことの一つは、このような機会は30～40代の頃にあったらもっとネットワークが広がっただろうということです。これに

ついては、実際はあったのに私が知らなかっただけかもしれません。

現在は、同窓会の事業として高校卒業後の5月（又は6月）に近況報告やビンゴゲーム大会などを楽しむ同期会を行ったり、二十歳の同期会を1月中下旬に行ったりしています。どちらも幹事が企画・運営に工夫を凝らし、楽しく充実した会になっています。これらは同窓会員が親睦を深めることが最大のねらいです。

同窓会としては、会員の親睦以外にも学校支援を目的とした活動を行っています。例えば今年度から学校で開催されているオープンスクールでは、OB、OG延べ約60人が附属中学校の授業見学の手伝いとして参加しました。この他にも、体育会系の成績優秀者に対する同窓会表彰、同窓生を講師とした「卒業生と話そう」、同窓生による在校生の学習活動支援などに取り組んでいます。同窓会の諸事業にご協力いただいている同窓生の皆さまありがとうございます。

時代とともに変わること、変わらないことがあります。これからも、同窓会員相互の親睦、母校の一層の発展のために学校と協力しながら活動を進めます。よろしくお願いいたします。



南高等学校・
南高等学校附属中学校
校長
二上 直子
Naoko Futakami

同窓会の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、本校の教育を充実させるために、ご支援、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

南高等学校、南高等学校附属中学校の校長として、今年度着任いたしました。また、平成31年度には副校長として本校に勤務しておりました。同窓会の皆さまには本校の応援団として、物心両面から学校をサポートしていただき、大変心強く感じております。今年度は6月に初めて中高合同でオープンスクールを実施したのですが、同窓生による来校者の案内をボランティアでお願いしたところ、

午前と午後で合計60名以上の卒業生が協力して下さいました。このボランティアの皆様への支援について会長にご相談したところ、快諾をいただき、すぐに実行に移していただきました。ほかにも、同窓生による探究活動への学習支援や同期会の開催など、充実した取組となって定着しています。

今年度、14年間にわたり同窓会長として多大な貢献をいただいていた石川会長がご退任され、新会長に磯部会長が就任されました。石川会長は中高一貫校のスタートと同時に就任され、学校の応援団として現役の生徒への支援の充実、同期会など同窓会の活動の充実、加入率の増加など大いに活動を活性化していただきました。本当にありがとうございました。新会長の磯部会長は、本校附属中学校の校長としてご勤務いただいたこともあり、高校、附属中学校の両方への深い理解をお持ちであり、非常に心強く思っております。

末筆になりますが、同窓会の益々のご発展を祈念するとともに、本校及び南高生、南高附属中生一人ひとりの成長のために、今後とも皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。



南高等学校・
南高等学校附属中学校
前校長

星野 浩

Hiroshi Hoshino

教員としてこの南高で平成3年4月から13年間お世話になりました。大学卒業後南高一筋38年間で退職された先輩もおられ、私も恥ずかしながら教員人生を南高に捧げる心構えを持って、忙しいながらも楽しい毎日を過ごしていました。当時は若い教員が大勢おり、10年後20年後の南高を想像しながら、目の前の課題を解決し積極的に改革する意欲を持って、大先輩方とも熱い論を交わしたことを覚えています。そのような背景が、現在の南高の特徴ある教育活動や校風を築く一つの要因になっていたのかと私なりに考えています。常に意識していたことは、「悠々自適に構えず、改革に努め、時代の変化に敏感に、いかに中学生に選んでもらえる高校であり続けるか」ということでした。中学生に対する学校説明

会の実施や、学校案内（確かピンクのB4用紙、両面印刷を三つ折りにしたもの）などは、公立高校の中では先んじていました。さらに進歩を続ける南高は、現在は横浜市内初の公立中高一貫校として大きな役割を担い、地域社会の期待に応えながら、中学1年から高校3年までの6年間生活する学び舎となっています。

社会の変化のスピードは尋常なものではなく、教育もその中にあります。身につける力、求められる力、現実的には少子化による学校の統廃合や高校無償化による影響、普通科高校改革、大学教育改革等々、考えれば考えるほど悠々自適ではられません。

私は、校長としては1年と短い期間ではありましたが、その中で創立70周年という大きな節目と、高校募集停止という大きな変革を迎えた1年ではありました。

横浜での教員生活の始まりと終わりを南高校で過ごすことができたことを大変ありがたく思っています。この間、同窓会の皆様には大変お世話になりました。最後になりますが、南高校の更なる発展と、同窓会の皆様のご健勝とご活躍を祈念してご挨拶とさせていただきます。



校庭からの校舎



野球場



2013年寄贈 ニュートンのりんごの木

先生・OB 紹介



人生の1ピース

酒井 貴史 (52 期)

「お祭り学校だけとちゃんと勉強できそう?」

希望進路を決める面談でそんなふうに担任の先生から言われた 15 歳の私。その時のことは、今も鮮明に記憶に残っています。それから 20 年が (も?) 経ちました。人生の 1 ピースを決めたつもりが、まさか、その後の人生の半分 (生徒として 3 年、職員として 7 年) を、ここ南高で過ごすことになるとは思いませんでした。

自分自身が高校を卒業したあと、「南高生です」というと、返ってくる言葉は「何期?」です。自分自身はそれが当たり前だったのですが、どうやらそれは当たり前でなかったようで、「南高」のつながりの強さは卒業してから多くの場面で感じていました。

職員として母校に戻ってきて 7 年が経ちます。中高一貫校となった母校に違和感を覚えつつも、中学生から高校生となり、卒業していく生徒を見ていると、多感な時期を一つの学校で過ごす、人生の 1 ピース以上をここに預けているように見えます。そして、高校卒業後の進路について話を聞けることも増えました。

「自分は何がしたいのだろう」と EGG・TRY & ACT、生徒会活動、ボランティア活動…さまざまな活動を通して、自分の未来を考えた末の進路。学力だけでなく、こちらが思い描く進路を良い意味で外れていく生徒の話は、とても興味深いものばかりです。

同窓生による講演や、サポートに触れる機会も増えました。多岐に渡る分野で活躍する同窓生の姿を見るたび、年齢は下でも、本当に面白く純粋にすごいなと頭が下がります。そして、自分も同窓生の一人だと思い出し、何が還元できているのだろうと、少し恥ずかしくなります。もっと魅力ある人間になりたいなという気持ちが芽生えてきます。そんな、同窓生が還元してくれる有形無形の財産が、これからの南高をひとつまた一つと成長させていくのだろうと感じています。

さて、文頭の進路面談での一コマ。15 歳の私は何と答えたのでしょうか。その答えは、「南高に行きたいです!」だったと記憶しています。そして今。自分という人格形成の大部分を、南高色に染められた私が思うことは、「南高で良かった」です。人生の 1 ピースをここに決めた在校生の皆さんが、そんな気持ちになれるような時間を過ごして欲しいと願っています。

在籍期間…平成 31 年～現在まで (数学科教員)

OB 紹介 「新潟県青少年ベースボールフェスタ 2024」にて、野球部 OB が指導を担当

2024 年 12 月、新潟県のハードオフエコスタジアムで開催された「新潟県青少年ベースボールフェスタ 2024」において、野球部 OB 4 名が少年野球教室の指導を担当しました。

このフェスタは、一般社団法人新潟県野球連盟会長であり、野球肘治療の権威として知られる山本智章・新潟リハビリテーション病院長の主導により実施され、県内の少年野球チームに所属する約 2,000 人が参加。イベントでは、投球障害の予防を目的とした「野球肘検診」や、栄養・トレーニングに関する講座、実技中心の「少年野球教室」などが行われました。

野球教室の企画・運営を担ったのは、山本院長の右腕として同病院に勤務する整形外科医、菊池達哉さん (21 期生・新潟大学医学部卒) です。

この教室では、かつて菊池さんが明治大学在学中に南高野球部の学生コーチを務めていた際の教え子である飴谷晋一さん (26 期生・早稲田大学教育学部卒、同大学硬式野球部出身) と、大石滋昭 (26 期生・元読売ジャイアンツ) が講師を務めました。新潟市内の少年野球 10 チーム・約 200 名の選手に対し、打撃や守備の基本動作、怪我を防ぐための正しい投球フォームなどを指導しました。

飴谷さんは、名門・早稲田大学野球部で 4 年次に二軍監督を務めた経験を持ち、現在はトレーニング指導士として活躍中です。当日は基本技術のアドバイスに加え、

自重を活用したトレーニング指導も行いました。

また、現在新潟大学医学部に在籍し、医学部準硬式野球部に所属する間中直悠さん (65 期生) もサポートスタッフとして参加。2024 年夏まで同部の主将を務めていた間中さんは、指導の合間に力強いピッチングとバッティングの“二刀流”を披露し、子どもたちの憧れの的となっていました。

神奈川から遠く離れた新潟の地で活躍する先輩・後輩の姿に、尊敬と頼もしさ、そして今後への期待を強く感じました。野球部の絆に感謝しながら、同期の飴谷君とともに帰路につきました。

(文責：大石 滋昭)



左から菊池さん・飴谷さん・大石・間中さん・山本院長



子どもたちの前で投球する間中さん



新風やがて旋風

小松 誠(南高62期/附属中1期)

2012年4月に附属中へ入学し、2018年3月に高校を卒業した私は、中高6年間で「南高」で過ごした初の生徒の一人です。

附属中開校式後の第1回入学式では、新入生代表として決意の言葉を読む機会をいただいたこともあってか、お互いの名前を知り合う前から同級生がたくさん話しかけてくれました。おかげで比較的すぐに友人の輪が広がっていきました。当時の高校の先輩方は、突然現れた小さな後輩たちに戸惑いながらも、多くの行事で高校生スケールのエネルギーを開花させ、「お祭り学校」という南高の文化を惜しみなく魅せてくださりました。

弦楽部に入り中高合同でのアンサンブルを楽しみ始めて3年目となったところで、音楽科の岩田先生が南高に帰任されました。これを機に定期演奏会で管弦楽や合唱付の曲をやることになりま

した。現役部員のみでは人数不足だったため、前同窓会長の石川先生をはじめOBOGが賛助として共演してくださったことが、卒業生の先輩方と知り合うきっかけとなりました。

高校に62期生として入学すると、39名の高入生と出会いました。南高の歴史で初めて中入生と高入生と一緒に学年を創ったときに吹いた新風やがて旋風は、中高一貫校となった南高の様々な側面に変化をもたらしました。南高がグローバル化に大きく舵を切ったのもこの頃です。文部科学省SGH指定を契機に、Try & Act 研究発表会や高2のシンガポール研修旅行などで他校や現地の人々と英語で交流できたほか、GLPに参加し成長著しいベトナムを直接訪問する機会にも恵まれました。これらの経験は海外の方と一緒に仕事をする現在にも役立っています。

翻って今日の南高も大きな変革のときにあると伺っています。何かとご苦勞は絶えないかと拝察しますが、南高生の豊かな人間性と知性を以てすれば、必ずやみなさんで新しい憧憬の地に辿り着くことができると信じ、遠くからそっと応援しております。

卒業生と話そう

TRY & ACT



内容 卒業生5名がそれぞれ1から5組までのHRに入り、トークとワークショップを行う。トークでは南高を卒業してから現在に至るまでのキャリアの話、ワークショップではそれぞれの得意分野でのセッションを実施してもらう。

- 目的**
- ①「総合的な探究の時間(TRY&ACT)」の授業の一環として行い、生徒一人ひとりが自身のキャリア形成について考えるきっかけとする。
 - ②南高校の人的リソースを最大限に活用し、1期から71期までの南高生をつなぎながら、南高校のブランド力をさらに向上させる。
 - ③表現することに触れ、T&Aでの「発表・表現」や風の章に向けて感性を養う。



新井 正美さん(18期)
カニカマの
新メニューや
コラボ企画をする



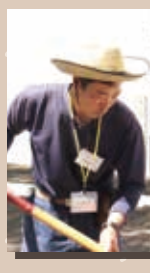
作山 肯之さん(41期)
テーマに沿った
写真撮影



重城 千鶴さん(34期)
みんなで
曲を演奏する



山田 素子さん(28期)
綿ボールで
アート作品を作る

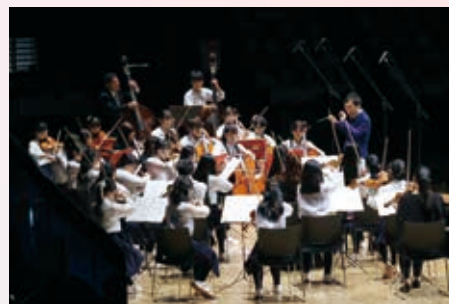


奥津 仁さん(41期)
土ポットに
野菜の種を植える

横浜市立南高等学校 創立 70周年
南高等学校附属中学校 創立 10周年

記念式典・記念イベント

2024年 9月 20日(金) 横浜武道館



記念式典 プログラム	記念イベント プログラム
心機一転 11時開式予定	11時開演 14時30分閉演予定
1 開式の言葉	1 オープニング
2 国歌斉唱	2 平島校長挨拶
3 横浜市長挨拶	3 全場観客メッセージ
4 学校長挨拶	4 高砂ダンス部演奏
5 横浜市長挨拶	5 卒業生スピーチ
6 横浜市長挨拶	6 卒業生代表挨拶
7 横浜市長挨拶	7 2011年周年記念 （2011年4月10日）
8 実行委員長挨拶	8 在校生代表・在校生代表 メッセージ
9 実行委員挨拶	9 記念品贈呈式
10 在校生代表挨拶	10 合唱団「南風」
11 校長挨拶	11 合唱団「南風」
12 閉式の言葉	12 エンディング

卒業直後の 同期会

▶ 卒業直後の5月に食堂で開催しています。

68期
2024年5月26日
南高食堂



69期
2025年5月25日
南高食堂



二十歳の 同期会

▶ 二十歳を祝い、1月に開催しています。

66期
2024年1月14日
ロイヤルホールヨコハマ

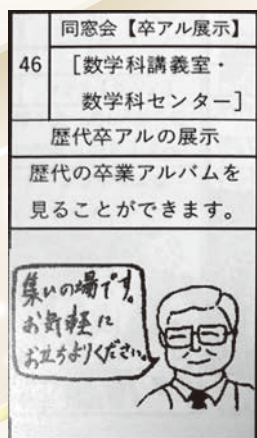


67期
2025年1月25日
ロイヤルホールヨコハマ



南高祭

▶コロナ明けで参加復活。
飲み物の配布は無くなりましたが、
お菓子を配布しています。
第一期生からの卒業アルバム展示、
閲覧できます。
是非お立ち寄りください。



同期会

15期同期会
2024年10月23日
崎陽軒本店



▲2024年10月23日(水)に横浜駅東口の崎陽軒本店にて15期同期会が開催され、93名が出席しました。尚、併せて、能登災害支援募金を行いました。
(寄稿:15期 中村 宏幸)

16期
第2回古希の集い
2024年1月20日
ロイヤルホールヨコハマ



▲2024年1月20日(土)、「ロイヤルホールヨコハマ」にて、第2回同窓会を開催いたしました。残念ながら、恩師との再会は叶いませんでしたが、117名の参加を得ました。会長の挨拶に始まり、初めての16期同窓会の「総会」も開催され、会場では、卒業時のクラス、1年生時のクラス、或いは部活動等、多くの会話の輪が広がり、あっという間の3時間で、次の再開を願い、お開きいたしました。
(寄稿:事務局 森 和彦)



64 期
2024 年 3 月 8 日
ザ・スクエアホテル
横濱みなとみらい



65 期
2025 年 2 月 23 日
グレースパリ
パセラリゾーツ関内

部活OB会

ソフトテニス部
2023 年 7 月 22 日
南高校テニスコート



▶ 8 期から 67 期までの OB OG と現役 8 名を含む約 50 名が母校テニスコートに集合し、コロナ禍で中断していた OB 会が 4 年ぶりに開催されました。午前中は OB・現役による合同練習会で思い切り汗を流しました。現役高校生も OB OG と一緒にプレーし貴重な体験ができました。OB 総会そして昼食会では現役当時の思い出など、話が尽きることなく気が付くと予定の時間になってしまいました。OB 同士の連携そして現役との絆を感じることができた、とても充実した楽しい OB 会でした。

(寄稿:21 期 泉 馨)

ソフトテニス部 次回OB会のお知らせ

2025 年 9 月 27 日(土) 10:00 ~ 南高校テニスコート
▶ 連絡先 21 期・泉 馨 090-6807-0900

美術部／南期会展
2024 年 3 月 20 日～25 日
吉野町プラザ



陸上部／60周年記念
2014 年 12 月 20 日
松島旅館



陸上競技部 OB 会からのお知らせ

南高陸上競技部 OB 会が誕生して 70 年になります。この間の社会の変化に伴い、会の在り方を見直す時期に来ているのかもしれませんが。この先、会のお知らせは『同窓会報』および同窓会のウェブサイトでの発信を試み、どのような方法がふさわしいか考えたいと思います。OB のみなさん、このページが目にとまりましたら、会の運営に対するご意見、アイデアをお寄せください。

▶ 問い合わせ 18 期・高橋 say@open-web.jp
※問い合わせには、このお知らせを発信するまでの経緯などを返信します

寄付をして頂いた方の御芳名

2023年6月1日～2025年5月31日までに同窓会へご寄付を頂いた方々のお名前を掲載させていただきました。皆様からの浄財は会報発行など同窓会の運営費として、また母校への援助資金として大切に使用させていただきます。本来ならお一人お一人にお礼状を差し上げるところでございますが、この書面をもって代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

※敬称略 匿名希望は除く（ ）は旧姓

〈1期〉 本望 裕代（服部） 湯川 順子（武井） 長井 眞知子（高橋） 平戸 善久 市野 雅也 高橋 健一 〈2期〉 間野 祥一 山口 肇 清水 千恵子（山家） 大塚 忠雄 山本 秀智 岩崎 優 平澤 広光 〈3期〉 森 靖博 青木 秀雄 鈴木 正孝 鈴木 美徳子（鈴木） 菊地 紀夫 〈4期〉 金塚 日出子 大塚 明美（岡司） 山田 内子（中谷） 斎藤 光男 中村 彰 依田 章史 福田 すみ子（河内） 堤 淳一 小岩井 義祐（細井） 北村 史子（門馬） 松岡 忠義 山本 和廣 大塚 喜英 壁田 昭 柳谷 紀秀 天下井 清 大谷 進治 大江 菊宣 小浜 稔 西川 佳孝 宮崎 武能 〈5期〉 小田切 邦雄 中里 南海男 仲田 祥江（内海） 浅井 洋子 服部 照子（長谷川） 前田 邦博 平田 実 日高 加代子（岡） 中井 年子（紙遼） 〈6期〉 川合 功 鈴木 豊 齋藤 治子（中村） 荒井 康彦 塚本 雅己 中野 幸司 飯島 敏雄 大滝 良雄 福田 武久 小島 玲子（川崎） 山下 古奈宜（春田） 中田 健二 吉田 弘子（清島） 鈴木 勝子（窪田） 吉田 博子（小林） 笠嶋 悦子（三沢） 鈴木 達三 松野 隆介 矢尾 知子（栗田） 古谷 知子（土屋） 平井 なほ江（佐野） 小林 美智子（北原） 北條 千賀子（平） 〈7期〉 山田 誠 織茂 満明 宮沢 賢司 内木 功枝（重城） 内田 尚子（保母） 山崎 貞子（依田） 〈8期〉 小原 信夫	二村 臣代（長谷川） 上野 和道 竹村 彰太郎 青山 尚文 添田 伸亮 野尻 恵美子（多々良） 箕輪 雅子（館） 奥田 邦子（井上） 〈9期〉 田窪 和代（鈴木） 上野 早都子（田村） 尾花 愛子（松島） 見山 良平 相田 百合子（小林） 梅沢 孝志 加藤 泰弘 仲村 純一 蒲 隆夫 石川 直弘（福田） 吉田 洋子（津村） 高橋 節子（渡辺） 安藤 昭子（吉川） 佐藤 洋 藤江 雄司 太田 容子（村上） 〈10期〉 梅沢 伸二 小島 邦雄 柳田 勢津子（久世） 小林 美江子（皆川） 海老沢 幸子 相原 洋子（清水） 吉野 節子（高井） 宮口 恵美子 10期2組有志 篠原 唱子 菊地 春江（鈴木） 八巻 和代 田村 芳一 三戸谷 二朗 青木 清 松尾 貴子（大塚） 清 美徳子（古賀） 鈴木 康夫 清水 徹 江川 智子（小川） 田頭 昌彦 吉田 富春 小澤 冴子（奥田） 安藤 昌徳 遠藤 哲夫 奥川 隆 石川 到覚 鎌田 和雄 工藤 二郎 〈11期〉 小原 早苗（尾島） 中村 澄子 石原 純一 佐藤 成大 荒井 令子 井岡 美津枝（高木） 長崎 隆夫 加藤 寛 萩原 美栄子（藤本） 川島 英子（水谷） 保坂 博司 〈12期〉 奥 登代子（本多） 新倉 利枝（松原） 石橋 恭子（吉川） 大室 由紀子（浜田） 吉田 幸司 石川 麗子（小林） 白川 清 若木 正文 荒井 保男 岡部 守恭 郡山 業都子（真鍋） 島田 紀子 大槻 和子（廣川） 谷口 恵美子（松田） 中川 洋子（三島） 青木 幸夫（有木） 高藤 正明 浅井 利夫	北見 泰人 〈13期〉 濱田 早苗（碓井） 奥山 容子（小野） 栗原 時子（清水） 石川 澄子（良知） 篠原 美津江（石崎） 瀬尾 のり子（高浜） 香川 里美（野口） 須藤 清 竹内 喜次 川崎 能延 小島 博 中瀬古 公男 益田 國正 島田 のり子（伊丹） 岩井 和枝（松田） 小関 裕 新保 孝夫 宇田 永治 〈14期〉 高儀 和枝（大久保） 淡路 美也子（熊倉） 田口 一美（深海） 工藤 正治 宮崎 英雄 新井 恵子（中野） 八百幸 純子（松本） 佐志田 淑子（常森） 太田 実 佃 明義 村木 康之亮 植松 敏子（吉田） 寺内 悦子（古藤田） 梅田 薫 塩田 高明 二村 康代（川井） 菊地 晶江（花井） 磯貝 比左夫 潮田 勇 白井 久雄 坂牧 幸信 中村 光雄 渡部 佳利 〈15期〉 草野 洋子（辻） 倉田 明雄 椿山 佳明 石川 恵子 梅田 晋司 荒井 和彦 片野 勝彦 片山 徹 石間 照代（尾上） 安井 美恵子（杉原） 小杉 孝司 中村 宏幸 鈴木 信二 〈16期〉 柴田 麗子 小松 恵（南保） 保田 実 山田 一仁 安藤 清美 栗芝 恵子（矢口） 三木 理恵子（貴島） 西村 圭子（高石） 佐藤 博樹 立川 浄久 高橋 良子（鈴木） 大和多 正夫 渡邊 浩江（有賀） 大野 淑子（植松） 式井 裕子（北畠） 本田 明美 宮川 照美（岡部） 青山 幸枝（坂牧） 小野 敏行 児島 義明 並木 一佐雄 本田 英司 森 茂光 〈17期〉 大菊 明 鈴木 章夫 宮崎 穂高	村上 一郎 君嶋 哲也 小林 康裕 山本 伸一 大川 浩 岸山 真純 鈴木 かよ子（浦本） 〈18期〉 松田 範子（小島） 濱倉 公子（山下） 高田 桂子（志村） 川井 啓司 岡野 光延（長谷川） 山形 和弥 野口 務 大嶋 喜代一（小泉） 〈19期〉 成川 秀幸 宮崎 久恵（志賀） 浅見 尚史 浅見 康子（前川） 三枝木 俊美 西川 喜代美 菱刈 範之 中杉 玲子（石川） 〈20期〉 高田 和成 東海林 正弘 石井 裕美（本田） 川島 武 佐々木 友彰 間宮 英美 笠原 栄嗣 佐々木みどり（沖） 川島 洋子（宮尾） 田中 稔 山田 久仁子（大井） 木下 素子（小柳） 有賀 正 加藤 春見（菊地） 〈21期〉 木村 理子（小林） 阿部 文雄 磯部 修一 小山 孝子（福永） 吉田 秀人 〈22期〉 鈴木 ひろみ（青木） 加藤 洋一 荻原 正雄 上田 英貴 金成 聡之 〈23期〉 白鳥 晴美（浅野） 能城 真子（横山） 鈴木 祐次 君島 律子（古内） 小泉 宏 〈24期〉 青木 房人 [*] （下山） ※24期サッカー部有志 他5名 阪井 隆博 田上 哲郎 〈25期〉 西川 実 堀川 元司 〈26期〉 鈴木 礼美（関口） 〈27期〉 小林 卓 石黒 靖男 佐藤 秀哉 相川 恵子（弥陀） 矢島 睦美（渡邊） 宇野 登志樹 〈28期〉 志村 誠彦 中川 紀子（伊藤） 中西 薫（片保） 〈29期〉 藤方 聡 小林 晋 〈30期〉 青木 葉子 山崎 聡 松枝 美加（田牧）	手嶋 道子（関） 〈31期〉 小林 高志 野嶋 剛 濱欠 宏哉 〈32期〉 中沢 信義 〈33期〉 幡多 緑（斉藤） 和倉 奈緒恵 山野井 友美 〈34期〉 則竹 悟 中野 佐知子 服部 里加子（味知） 市原 祐子 木寺 昌子 信太 純 横山 夏子（飯田） 〈35期〉 矢吹 進一 伊谷 綾子 森坂 芳友 〈36期〉 高橋 博之 大工園 有理（山下） 田中 真帆 金子 桂 三保谷 七海（松永） 〈38期〉 脇田 礼 大山 茂伸 廣瀬 俊 〈39期〉 小山 崇 阿部 利恵子 〈40期〉 石川 耕平 〈41期〉 岩村 公太 〈42期〉 山崎 正敦 〈43期〉 五反田 理絵 〈45期〉 和田 直樹 武田 理 本田 麗子 白井 ヨシ 〈46期〉 荒井 恵（金子） 前田 新二 中島 美和子（菅沼） 宮崎 真理子 〈47期〉 渡邊 裕喜 〈48期〉 小林 貴子（葛野） トーマス 香織（下藤） 三上 奈実（寺島） 〈49期〉 白水 愛（金子） 川本 孔明 〈53期〉 鈴木 悠 〈54期〉 田中 恵美（中村） 〈56期〉 花木 朝香 〈60期〉 水野 光稀 〈61期〉 大平 野乃 齊藤 瑞希 〈63期〉 西野 恭祐 戸坂 真彩 〈66期〉 奥山 春慶 板垣 匡彦 〈67期〉 川崎 椋太郎
---	---	--	--	--

匿名希望 14名

同窓会表彰 ～各部活動の活躍～

Congratulations!

令和5年度

高 校 3年4組

松尾 咲希

第65回神奈川県高等学校新人陸上競技大会 第5位

令和5年度第27回関東高等学校選抜

新人陸上競技選手権大会 出場

高 校 1年3組

後藤 大志

2024 29er Asian Championships 総合3位(男子2位)

2023 Youth Sailing World Championships 出場

中学校 3年2組

豊泉 葵大

JOC ジュニアオリンピックカップ

全国都道府県対抗中学バレーボール大会 出場

令和6年度

高 校 3年4組

松尾 咲希

令和6年度関東高等学校陸上競技大会

女子800m 決勝

第7位入賞



同窓会から表彰いたしました

同窓生による在校生の学習活動への支援

平成30年度より、卒業生による在校生の学習活動への支援を行っています。62期生（附属中1期生）が卒業した時からスタートしたこの事業は、直近の卒業生が現役生徒の進路を含めた様々な課題に対して自らの経験を踏まえた話をしたり、グループ学習での助言を行ったりしています。先輩の中高時代の経験や大学での研究、ゼミの話などは進路実現に対する意識の高まりに役立っていると高く評価されています。

同窓会では参加してくれた卒業生に図書カード（現在は3千円）を支援しています。現役生が卒業生とつながりを持つことは大変良いことと考えており、同窓会による学校支援の一環として今後も続けて行く予定です。

令和7年度 南高・南高附属中に在籍の卒業生の先生方

中・高	卒業期	担当教科	お名前
高 校	33期	英 語	蛭田 祥友
高 校	36期	地歴公民	佐伯 玲魚
高 校	40期	国 語	西澤 憂
中 学	47期	理 科	我妻 辰哉

中・高	卒業期	担当教科	お名前
高 校	49期	保健体育	山口 拓也
中 学	52期	数 学	酒井 貴史
高 校	62期	英 語	樋口 涼太

同窓会役員・理事・監事紹介

役 職	期	氏 名
会 長	21	磯部 修一
会長代理	13	桐生 秀昭
副 会 長	14	菊地 晶江
副 会 長	18	山形 和弥
副 会 長	20	間宮 英美
理 事	13	岩本しのぶ
理 事	24	金子 孝
理 事	26	粕谷 正伸
理 事	26	長澤 嘉訓

役 職	期	氏 名
理 事	45	只木 聡
理 事	54	荒川 飛鳥
理 事	62	小松 誠
理 事	63	宮本 岳
理 事	64	長尾 優磨
理 事	65	鈴木 桃子
理 事	66	鈴木 葵衣
理 事	66	松永 直樹
理 事	67	小川 椋平

役 職	期	氏 名
理 事	67	阿部 航希
理 事	67	中尾 拓実
理 事	68	小林 愛俐
理 事	68	原田 隆史
理 事	69	真田愛生子
理 事	69	角田 和瑛
監 事	10	北見 昭八
監 事	30	荒川 尚美

総会のご案内

令和7年 横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会総会

横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会会則第22条1の規定により、下記のように総会を開催いたします。同窓会ホームページにて総会議案書をご確認いただき、同封のハガキにてご意見をお寄せください。また、当日参加される方は同封のハガキにてお知らせください。

日 時：令和7年10月18日(土) 13時30分受付開始 14時開会

会 場：南高食堂

内 容：議案書（同窓会ホームページに掲載）をご覧ください。

- 同窓会ホームページがご覧になれない方で、議案書が必要な方は、同封のご意見連絡用ハガキにその旨をお書きください。
- ハガキの投函は9月末までをお願いいたします。

本年は総会後は簡単な茶話会を予定しております。

※当日学校の駐車場は使用できません。公共交通機関をご利用ください。



同窓会ホームページのご案内

イベント情報、活動記録などタイムリーな情報を発信しています。



<http://nanko-ob.com>

